

お詫び

社団法人 成年後見センター・リーガルサポート
理事長 芳賀 裕

当法人は、「高齢者、障害者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与する」ことを目的に設立された公益法人であり、高齢者、障害者の方々が安心して成年後見制度を利用していただけよう会員に対する研修受講や受任事案の一定の報告を求めるなどの執務管理を行ってまいりました。

しかるに、今般、当法人の会員（東京支部）が、成年被後見人の財産より一部金員を流用したとの遺書らしきメモを残し、平成21年12月4日午後3時頃、自宅にて自死していた事実が判明しました。

当該会員の行為は、ご本人の信頼を大きく裏切る行為であり、かつ成年後見制度に対する国民の安心と信頼を揺るがす許し難い行為であります。ご本人をはじめとする関係者の皆様、さらに成年後見制度に関わる皆様に多大のご迷惑をおかけいたしましたことに心よりお詫び申し上げます。当法人としましては、現在、被害額の把握と被害の回復に全力を傾注しております。

当法人は、成年後見制度に対する皆様の信頼を失墜させかねない重大な事態であることを真摯に受け止め、今後このような事態が起これぬよう、会員への研修や執務管理体制の充実につき組織を挙げて取り組む決意であります。

今後とも当法人への変わらぬご理解を賜りますことを心よりお願い申し上げます。